

報道発表

2025年10月7日
公益財団法人電気通信普及財団

2025年度助成援助(5月期)を決定

公益財団法人電気通信普及財団(理事長 巻口 英司)は、2025年度助成援助(5月期)の公募に対し、応募があった案件について、別紙のとおり援助を決定いたしました。

概要は下記のとおりです。

記

2025年度助成援助(5月期)

1. 特別講義開設援助	1件	624千円
2. 長期海外研究援助	2件	10,265千円
3. シンポジウム・セミナー等開催援助	9件	5,700千円
4. 国際交流人材育成援助	1件	600千円
5. ネット社会課題対応援助	6件	7,300千円
6. 学術研究出版助成	7件	13,314千円

(参考)

1. 特別講義開設援助
大学又は大学院において、情報通信に関する特別講義(人文学・社会科学分野及び技術分野)を新たに開設するための経費を援助します。
2. 長期海外研究援助
情報通信に関する研究(人文学・社会科学分野及び技術分野)を行う研究者が、海外の大学又は研究機関の招請を受けて、海外で長期間、優れた研究活動を実施するため、その経費の一部を援助します。
3. シンポジウム・セミナー等開催援助
情報化社会の進展や情報通信の普及・振興に資するため、情報通信の研究、普及・振興に関して学術的に寄与する会議等の開催について、開催経費の一部を援助する必要があると認められるものに援助を行います。
4. 国際交流人材育成援助
情報通信分野での我が国と開発途上国との間の国際交流が促進されるような活動(人材育成が促進されるような活動)を援助します。
5. ネット社会課題対応援助
情報社会の進展に伴い生じている情報通信の利用者のリテラシー、スキルの向上や情報通信を活用して社会、地域等の課題対応に貢献するための活動を援助します。
6. 学術研究出版助成
情報通信の発展に寄与するために行う、学術研究の成果を公表するための書籍の出版を助成します。

【連絡先】

公益財団法人電気通信普及財団 事業部 梶山
03-3580-3414
jigyoubu(at)taf.or.jp (at)を@としてください。
<https://www.taf.or.jp/>

1. 特別講義開設援助

(金額単位: 千円)

区分	大学名	特別講義名	援助 金額
継続 (3年目)	愛知学院大学	先端経営講座 (DXデザイン思考)	624
合計			624

採択 1件 624千円

2. 長期海外研究援助

(金額単位: 千円)

申込者	年齢	研究テーマ、受入れ機関等 滞在期間	援助 金額
慶應義塾大学 大学院システム デザイン・マネ ジメント研究科 特任講師 西野 瑛彦	(34)	衛星通信技術と地上の情報配信サービスを連携 させた森林火災警報システムの構築 オーストラリア ニューサウスウェールズ大学 The Faculty of Arts, Design & Architecture Sisi Zlatanova教授 2026年09月～2027年08月	5,000
日本大学 経済学部経済 学科 助教 江上 弘幸	(40)	デジタルメディアがウェルビーイングに与える影 響とそのメカニズムの学際的解明 イギリス University of Oxford; Oxford Internet Institute Andrew K. Przybylski; Professor of Human Behaviour and Technology 2025年10月～2027年09月	5,265

採択 2件 10,265千円

3. (1)シンポジウム・セミナー等開催援助 (学術分野)

(金額単位:千円)

申込団体名・ 申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助 金額
ICPS2026組織委員会 組織委員長／東京大学・特任教授 荒川泰彦	第37回半導体物理国際会議 (37th International Conference on the Physics of Semiconductors; ICPS 2026)	1,000
IEVC2026実行委員会 実行委員長 内田理	第9回画像電子・ビジュアルコンピューティング国際会議 (IEVC2026)	500
CSW2026実行委員会 実行委員長 杉山正和	Compound Semiconductor Week 2026	500
電子情報通信学会 通信ソサイエティ 会長 中尾彰宏	The 6th IEICE-CS International Conference on Emerging Technologies for Communications (IEICE ICETC 2025)	1,000
ADMA 2025組織委員会 組織委員長 吉川正俊	The 21th International Conference on Advanced Data Mining and Application; ADMA2025 (第21回高度データマイニングおよびアプリケーションに関する国際会議)	1,000
The 35th International Symposium on Industrial Electronics 実行委員会 実行委員長 岩崎誠	The 35th International Symposium on Industrial Electronics	1,000

採択 6件 5,000千円

3.(2) シンポジウム・セミナー等開催援助 (社会貢献分野)

(金額単位: 千円)

申込団体名・ 申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助 金額
一般社団法人学校地域協働センターラ ポールくしろ 代表理事 幸村仁	地域活性化と情報通信の未来 ～セブ ン銀行が描くデジタル社会の新たな役 割～	700

採択 1件 700千円

4. 国際交流人材育成援助

(金額単位: 千円)

区分	申込者	事業名	援助金額
継続 (3年目)	国立大学法人 電気通信大学	インドネシアにおける放射線モニタリング技術の普及・能力開発	600

採択 1件 600千円

5. ネット社会課題対応援助

(金額単位:千円)

区分	申込者	事業名	援助金額
新規	松山大学 松山大学 学長 池上真人	サイバーセキュリティ人材育成のための実践的な教育アセットの開発	2,000
新規	茨城工業高等専門学校 国際創造工学科 准教授(副産学連携 センター長) 片岡隆史	高専発・生成AIを活用した地域情報 包摂モデルー農産販路DXと多言語 防災アプリの開発ー	1,200
新規	高知県立大学 文化学部 教授 大井方子	SNS型投資・ロマンス詐欺の被害過 程の解明と被害防止キャンペーン の効果検証	2,000
継続 (3年 目)	仙台高等専門学校 総合工学科 教授 千葉慎二	広域に分布するため池群監視を中 心とした地域環境計測システムの 開発	500
継続 (3年 目)	学校法人加計学園 岡山理科大学 教育学部初等教育 学科 学長 平野博之	科学的根拠を基にした学習コンテン ツの持続可能な運用を実現する情 報ネットワーク構築の研究	1,100
継続 (2年 目)	大谷大学	デジタルデバイドの解消と健康増進 を目的とした学生によるスマート フォン教室の運営・開催と地域交流 事業の展開	500

採択 6件 7,300千円

6. 学術研究出版助成

(金額単位: 千円)

分野	申込者 所属・役職・氏名	単著 / 共著	書名	助成 金額
人文学・社会科学分野	中央大学 企業研究所 客員研究員 谷口 明文	共著	企業はどのように人を育ててきたか: GE・日立・ジーメンスにおける人的資本 の形成	2,000
両分野に跨る	一橋大学 社会科学高等研究院 教授 角田 美穂子	共著	AI時代の司法を考える	1,850
人文学・社会科学分野	一橋大学 情報基盤センター 教授 東川 玲	単著	デジタル主権	2,000
人文学・社会科学分野	特定非営利活動法人 社会理論・動態 研究所 研究部 研究員 一藤 浩隆	単著	製造業から見たアニメーション制作	1,684
人文学・社会科学分野	明星大学 人文学部人間社会学科 助教 杉山 怜美	単著	ファンとライフコースの社会学——趣味 を続ける女性たちの経験	1,855
人文学・社会科学分野	中央大学 文学部 教授 松田 美佐	共著	つながりの「曲がり角」(仮)	2,000

分野	申込者 所属・役職・氏名	単著 / 共著	書名	助成 金額
人文学・社会科学分野	仙台大学 体育学部スポーツ情報マスメディア学科 教授 齋藤 長行	単著	『人間の習性を踏まえた政策アーキテクチャによる子どものデジタル環境整備』	1,925

採択 7件 13,314千円